

パーソナルオーディオシステム

リファレンスガイド



SRS-X1



* 4 5 4 1 6 3 4 0 2 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。リファレンスガイドおよびクイックスタートガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② マイクロUSBケーブルを抜く
- ③ ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



△危険 下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れない



禁止

分解しない



分解禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない



禁止

△警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

車の中で使用しない



禁止

内部に水や異物を入れない



禁止

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない



禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない



禁止

自然放熱を妨げない



禁止

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

△注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

はじめから音量を上げすぎない



禁止

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中の製品に長時間ふれない



禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

本機を航空機内で使わない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない



禁止

電波が心臓ベースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す



注意

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です



指示

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機ではリチウムイオン電池を使用しております。

充電池
内蔵リチウムイオン充電池

△危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

△警告 充電式電池について

• 火の中に入れない。分解、加熱しない。

• 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

本機を廃棄する

△注意 日本国での充電式電池の廃棄について

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/>
を参照してください。

防水について
(ご使用前に必ずお読みください)

本機の防水性能について

本機は、JIS C 0920 「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX7¹及びIPX5²相当の防水仕様³となっていますが、完全防水型ではありません。

故意にお風呂の温水や水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。

また、使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。

以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

防水の対象となる液体

対象：真水、水道水、汗

非対象：上記以外の液体(例:石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、ブルの水、海水など)

¹ IPX7 (浸水に対する保護等級)：常温の水道水(静水)の入った水深1 mの水槽に本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず本体機能を保ちます。

² IPX5 (噴流に対する保護等級)：内径6.3 mmのノズルを用いて、約3 mの距離から約12.5 l / 分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からの水の直接噴流によっても、本体機能を保ちます。

³ キャップが完全に装着されている状態であること。

防水性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめ了承ください。

防水性能を保つために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。

• 本機を温度が非常に高いところ(約35°C以上)や低いところ(約5°C以下)で使用したり、放置したりしないでください。上記範囲外で使用したり放置したりすると、内部回路の保護のために、自動的に動作が停止する場合があります。

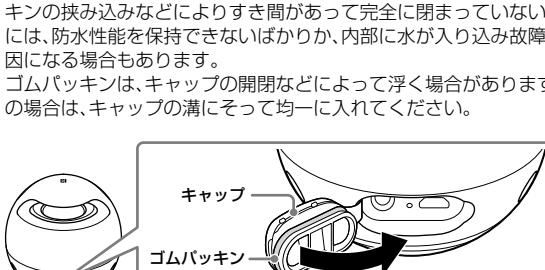
• 本機を落させたり、衝撃を与えたときに变形や破損により、防水性能劣化の原因となることがあります。

• 激しく水や温水のかかる場所での使用は避けてください。本機は、耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかる場所でのご使用は故障の原因となりますので、避けてください。

• 高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなど熱風を直接あてないでください。またサウナやコンロの近くなど高温になる場所でのご使用は絶対にしないでください。

• キャップの取り扱いに注意してください。キャップは、防水性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用の際は完全に閉まっていることを確認してください。異物が付着していたり、ゴムパッキンの挿み込みなどによりすき間があつて完全に閉まっていない場合には、防水性能を保持できないばかりか、内部に水が入り込み故障の原因になる場合もあります。

• ゴムパッキンは、キャップの開閉などによって浮く場合があります。この場合は、キャップの溝にそって均一に入れてください。



- キャップに使用しているゴムパッキンは、長時間の使用や環境によってひび割れや変形するおそれがあります。防水性能を保持するために定期的に点検・交換(有償)されることをお勧めします。詳しくは、ソニーの修理相談窓口(裏面)にご相談ください。

本機がぬれた場合のお手入れのしかた

本機に水がかかったり、水に浸してしまった場合は、まず水抜きをしてから、本機に付着した水滴を乾いたやわらかい布などで拭き取ってください。特に寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結する恐れがあります。故障の原因となりますので、使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。

乾いた布やタオルなどを下に敷き、水分が完全になくなるまで常温で放置し乾燥させてください。

水抜きをするには

- 1 表面の水滴を乾いた柔らかい布などで拭く。
- 2 本体の底部を、乾いた柔らかい布などに20回程度、軽くたたくように当てる。
- 3 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温に放置する。



汚れたひどい時は洗剤や薬剤を使用せずに水道水で軽く洗い流してください。その後は上記の手順で本機の水を切ってください。

使用上のご注意

携帯電話について

- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覗ください。

マイクロUSBケーブルについて

- 本機に付属のマイクロUSBケーブル(下図)をお使いください。



取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については本書をご覧ください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。

必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので、本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：

BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0準拠

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) : 音量の調整や、再生／一時停止などの曲操作をする。
- HSP (Headset Profile) * : 通話／携帯電話を操作する。
- HFP (Hands-free Profile) * : ハンズフリーで通話／携帯電話を操作する。

* 携帯電話のBLUETOOTH機能がHFPとHSPの両方に応している場合は、HFP (Hands-free Profile) を使用してください。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場合
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場合

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- BLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行なう際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入り、音が途切れたりすることがあります。

主な仕様

スピーカー部

使用スピーカー
直径約40 mm

エンクロージャー方式
パッシブラジエーター方式

アンプ部

実用最大出力
USB接続時：5 W (全高調波歪 10 %, 1 kHz, 2 Ω)(JEITA¹⁾)
バッテリー駆動時：2.5 W (全高調波歪 10 %, 1 kHz, 2 Ω)(JEITA¹⁾)

入力
ステレオミニジャック×1

¹⁾ JEITA (電子情報技術産業協会)の略称です。

BLUETOOTH

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m²⁾

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル³⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、
AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
HFP (Hands-free Profile)
HSP (Headset Profile)

対応コーデック⁴⁾

SBC⁵⁾

対応コンテンツ保護

SCMS-T 方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)

²⁾ 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

³⁾ BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

⁴⁾ 音声圧縮変換方式のこと

⁵⁾ Subband Codec の略

マイク部

型式

エレクトレットコンデンサー型

指向特性

全指向性

有効周波数帯域

200 Hz ~ 4,000 Hz

電源部・その他

電源

DC 3.65 V (内蔵リチウムイオン充電池)、DC 5 V 0.5 A (USBを接続して使用)

内蔵リチウムイオン充電池の持続時間(BLUETOOTH接続時)

約12時間⁶⁾

充電池充電時間

約3時間⁶⁾

使用温度範囲

5°C ~ 35°C

最大外形寸法(最大突起部含む)

約78 mm × 80.5 mm × 78 mm (幅/高さ/奥行き)

質量

約 185 g (充電池含む)

付属品

マイクロUSBケーブル(1)

キャリングポーチ(1)

クリックスタートガイド(1)

リファレンスガイド(本書)(1)

保証書(1)

⁶⁾ 周囲の温度や使用状態により、上記の時間と異なる場合があります。

USB充電の推奨環境

パソコン推奨環境

- 以下のOSが標準インストールされており、USBポートが標準装備されたパソコン
- 下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 日本語版標準インストールのみ。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

Windows[®]をお使いの場合

Windows[®] 8.1
Windows[®] 8
Windows[®] 7 SP1
Windows Vista[®] SP2

Macintoshをお使いの場合

Mac OS X(バージョン10.6 ~ 10.9)

MicrosoftおよびWindows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Incの商標です。

市販のUSB ACアダプター

出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプター

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

BLUETOOTHとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
Nマークは、USA及びその他の国における、NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

モデル名：SRS-X1

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話・050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話・050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はごちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389